

<投稿>

日本村落研究学会の会員（購読会員）獲得のための提案

明治大学大学院 中澤進之右

筆者は、昨年から農村における国際結婚やアジア系定住外国人花嫁についての資料収集・調査を山形県において開始しました。

国際結婚は、農村の後継者「対策」として取り組まれたことが注目され、嫁不足に悩み、万策尽きた各地の行政関係者の頼みの綱として関心を集め、全国的に広がっています。

ところで、資料収集・調査を進める過程で、各地域の農業委員会、自治体の企画課、教育委員会、生涯学習課、後継者結婚相談所、行政相談委員の皆さんと接し、当研究学会の正会員・団体会員および購読会員としてのニーズが高いという印象を持ちました。当研究学会のことをもっと詳しく知りたいという方が多く、「日本村落研究学会入会のしおり」「入会申込書」を送付したところ、さっそく入会された方もいらっしゃいます。

そこで、提案（というよりアイディアとして）いたします。直接的に農業・農村地域に住み、現場で問題に関わり従事している当事者・担当者の方々に、当研究学会の存在を告知し、認知していただき、入会につなげることを。

具体的な方法としては、①該当する部署や担当者宛にDM送付、②関連するマスコミのパブリシティーでの告知、③既存会員のクチコミ、等いろいろ有りますが、費用対効果のことを考えれば日本村落研究学会大会の開催地域周辺にターゲットを絞り、メディアを使ってパブリシティーで毎年訴求していくことが効果的であると考えます。

正会員、団体会員、購読会員を獲得・増加させるということは、様々な意味から当研究学会にとって必要と思われますが御一考を。